

文字情報のみで編集したものです



205/2007年9月

 連 合 神 奈 川
 発行責任者：野村 芳広

第21回参議院選挙

牧山ひろえ候補が 神奈川選挙区 トップ当選 政権交代へ 王手！ ご支援、ご協力ありがとうございました！

第21回参議院選挙は、神奈川選挙区で連合神奈川推薦の牧山ひろえ氏が100万票を越す得票でトップ当選を果たした。

比例区では連合神奈川推薦候補の7名が当選。それぞれの得票数は以下の通り。

相原久美子(自治労) 507,787票
 吉川 沙織(情報労連) 306,575票
 池口 修次(自動車総連) 255,453票
 神本美恵子(日教組) 224,999票
 藤原 正司(電力総連) 194,074票
 川合 孝典(UIゼンセン同盟) 171,084票
 轟木 利治(基幹労連) 166,969票

▲選挙事務所で当選の報を聞き、連合神奈川白石会長らと喜びを分かち合う牧山ひろえ氏。

▲当選翌日、選挙報告会で花束を受け取る牧山ひろえ氏(写真右)

08年度に向けた「政策・制度要求と提言」行政に提出

連合神奈川は6月26日開催の『第18回中央委員会』で決定された「2008年度に向けた政策・制度要求と提言」を、神奈川県、横浜市、川崎市、神奈川労働局に提出。要求項目の説明と意見交換を行った。

政策要求書は、8月3日に神奈川県、横浜市に提出、22日に労働局、23日には川崎市にそれぞれ渡された。

横浜・川崎市への政策要求提出では、当該地域連合も出席、地域で独自に練り上げられた要求書を提出し、それぞれ意見交換を行った。

写真上：川崎市、阿部市長(右)に要求書を手交。写真左：神奈川県、松沢知事(左)に手交。写真下：横浜市に提出。

KANAGA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION (2)

KANAGA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION (1)

核兵器を廃絶し、平和な世界をつくろう！！ 平和行動 各地で展開

連合神奈川は8月第1週をピースウィークとし、毎年、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を訴えている。

今年度もさまざまな平和行動を展開。横浜駅西口で行われた『ピースリレートーク』をはじめ、連合本部が主催する沖縄、広島、長崎それぞれの平和行動に今年も参加した。

連合神奈川ピースウィーク行動 平和な世界を！！PEACEリレートーク

毎月5日に行っている『連合の日』、8月のピースウィークでは平和運動をメインテーマに、横浜駅西口で、すべての核兵器廃絶と平和を訴えるピースリレートークやチラシの配布などの行動を横浜地域連合とともに展開した。連合神奈川白石会長らが平和を訴える中、今年度は平和な世界の実現を求める『高校生1万人署名』と連動し、高校生平和使節の代表もマイクをとってアピール。核兵器の廃絶を若い世代から訴えた。

2007平和行動inヒロシマ

ヒロシマ平和行動は8月4日～6日の日程で開催。

連合神奈川からは柏木副事務局長ら9名が、核兵器廃絶2007平和ヒロシマ大会や平和シンポジウム、ピースセミナー、祈念式典などに参加した。

2007平和行動inナガサキ

ナガサキ平和行動は8月7日～9日の日程で開催。連合神奈川から野村事務局長ら10名が、『核兵器廃絶2007平和ナガサキ大会』、ピースウォーク、平和シンポジウム、などに参加した。

連合神奈川ピースリレートークにも参加した高校生平和大使の方々とも行動をともにし、世界平和への祈りを一生強固なものにした。

▼高校生平和大使と参加者。平和ナガサキ集会

2007平和行動inオキナワ

6月23日～25日の日程で開

催。連合神奈川からは17名が、『2007平和オキナワ集会』などに参加。糸数壕(アブチラガマ)、ひめゆりの塔、平和記念

公園などを見学した。

▼平和の礎の前で。23日、平和オキナワ集会

連合神奈川女性委員会 構成産別女性会議

連合神奈川女性委員会は7月17日、ワークピア横浜で『構成産別女性会議』を開催。役員、産別代表者ら47名が参加した。

会議は女性委員会加納事務局長の司会で開会。「牧山ひろえ候補者に聞く」と題して参議院選挙を控えた牧山候補の決意や熱い意気込みなどを聞いた。

女性委員会大貫委員長の代表あいさつに続き、連合神奈川野村事務局長が「連合及び連合神奈川の男女平等参画の推進について」と題し、活動の現況や問題点などについて解説。活動報告の後、グループに分かれて男女平等課題に関する意見交換会が行われ、男女問題に関する考えを深めた。

仕事と家庭の調和を ワークライフバランスを進めましょう！

首都圏の若い男性の約4人に1人は、1週間に60時間以上も働いており、父親が子育てに関わりにくい状況となっています。

少子化の流れを変えるためにも、子育てを母親任せにせず、父親が子育てに積極的に関わり、子育ての喜びを実感できるようにすることが大切です。

それには、仕事と家庭生活の調和を意味する「ワークライフバランス」を実現していくことが何よりも求められています。

ワークライフバランスは、個人や家族のためだけでなく、企業にとっても人材の確保・定着という視点から注目されています。

八都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市)では、今年度からワークライフバランスを推進するキャンペーンを実施します。

特に10月21日(日)から27日(土)は、キャンペーン期間として、定時退社を呼びかけています。

皆さんの職場でも定時または早めの退社に努めるとともに、働き方を見直してみませんか？

◎くわしくは、県労政福祉課

(電話045-210-5744) へお問い合わせください。

連合神奈川では地球環境保護のため、ノージャケット、ノーネクタイ運動を実施しています

KANAGA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDRATION (2)

[カレント目次に戻る](#)